

# あやめが丘



「ご挨拶」  
同窓会長 林田新一  
(昭和42年卒)

あやめが丘に注ぐ時折の日差しが春の訪れを感じさせているようです。口加高校同窓会の会員の皆様にはご壮健にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

会員の皆様を始め関係の皆様には紙面をお借りしてご挨拶申し上げます。

口加高校同窓会は学校創立以来117年を数え、この間に2万人を超える卒業生を擁する伝統ある同窓会です。

本同窓会は県内に長崎、諫早、県北、島原そして地元校区には深江から小浜までの各旧町毎に支部があります。

また県外に関東口加会、中部口加会、関西口加会、口加博多会、熊本口加会の支部があり、それぞれの地域で活発な活動を続けていただいております。

各支部におかれましては、折にふれ同窓会や母校に対して一方ならぬご支援を賜っており心より感謝申し上げます。

会報誌「あやめが丘」は毎年3月1日の卒業式の前日の同窓会入

会式にあわせて刊行をします。全国の会員の皆様へはその後に発送準備にかかりお届けするようになります。

会報誌第49号からは全ての会員の皆さまへ会報誌をお届けして、同窓会の運営の状況や母校の様子、後輩の在校生の活動等をお伝えするようにして、この会報誌を通じて全国津々浦々でご活躍の卒業生の皆さまとの交流を図っています。

11月16日は口加高校の学校創立記念日にあたります。その前日に本部総会が開催されます。参加者は近郊在留の会員が中心となりますが、県内外の支部会からの参加も含めて多数の会員の参加を得て盛会に開催しております。

昨年度も「口加塾」の講演会の後に場所を移して本部総会、懇親会を開催し旧交を温める楽しいひと時を過ごしました。

「口加塾」とは県の事業で「心に響く人生の達人セミナー」という名称で、実社会における先達の経験談を在校生へ直に触れてもらうという趣旨で実施されている事業

です。口加高校ではその名称を「口加塾」として学校と同窓会の共催で、本校卒業の先輩に講演をお願いしています。

昨年42年卒の井上確(南和泉屋代表取締役)さんに講師をお願いして氏の経験談や考え方、自分で立ち上げた現在の会社の運営に關してなど、また井上さんを取り巻く人脈のつながりなど大変に有意義なお話をいただきました。

3月1日に晴れの卒業式を迎えられる89名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして、皆さんは卒業式を前に伝統の口加高校同窓会の一員となられます。

皆さんを本校同窓会の一員としてお迎えできる事を心より嬉しく思います。いま皆さんの胸中には学業や部活動、生徒会活動などの諸活動の思いが凝縮されていることでしょう。先生方の教えを受けながら、共に学び、競い、そして時に涙した友との事柄は生涯消えることのない思い出として皆さんの胸に刻まれることでしょう。

学び舎を巣立つ皆さんは、いま夢に溢れ希望に胸が膨らんでいます。この気持ちをもち続けながら、気持ちを切らすことなく一日一日を大事にして、実直に目標に突き進んでください。継続して学び続

け、更に自己啓発に努めていただきたいと思えます。どのような道に進もうとこの口加高校で培った口加魂で乗り切って欲しいと願います。

高校生という人生でも一番多感な時期を過ごした口加高校という学び舎を同じくしたということは永遠の絆であり、「あやめが丘」という空間は共に口加高校を巣立った全員胸に残っています。

ご存知ですか？教室に向かう階段の両端の石積みは創立時から唯一残る遺構です。あの石積みの一つ一つに先輩たちからの思いが伝統となつて積み重なっているのです。

皆さんもあの石積みの一つとなり母校を思い、支え、盛り立てていただければと念じます。

同窓生という言葉にはまだ実感が湧かないとは思いますが、今後は母校と在校の後輩たちを支えていく立場としてご協力をお願いいたします。先に記したように口加高校の同窓会は全国に支部を持っています。各支部の総会の案内はこの紙面にも掲載されます。是非とも参加をして「あやめが丘」の思い出を語り共有していただければと願います。

結びになります。この会報誌「あやめが丘」を通して約1万3千名の皆様へ、同窓会の状況や母校の様子、後輩たちの活躍をお届けしています。

皆様からの協力金によって口加高校同窓会の絆の拠りどころとして継続できますことを感謝申し上げますとともに皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

## 同窓会総会・懇親会開催

平成31年度同窓会総会が11月15日(金)18時より「しらはまビーチホテル」にて開催されました。

始めに林田会長より、会報誌発行に伴ったサポート事業などの同窓会活動に対するご理解への感謝と、益々のご協力をとの挨拶があり、その後の議題として執行部より平成31年度の事業・会計・監査報告が説明され、質疑応答の後承認され、続いて新年度の事業予定・会計・予算について説明がなされ承認されました。本会は総会の開催日を11月15日(創立記念日の前日)としているため、会計年度との関係で5月に開催する全国支部長会議で協議承認を受け事業を行い、総会において報告承認という形をとっています。

総会後には、懇親会が開催されました。懇親会では「口加塾」でご講演いただいた井上確氏(S42卒、和泉屋代表取締役)や遠方より参加された関東、関西、福岡、長崎、諫早の各支部代表の方々も参加の中で、懐かしい思い出話に花が咲き盛会の懇親会となりました。





# 新入会員89名を迎える

## 第72回卒業式・同窓会入会式

第72回卒業証書授与式が、令和2年3月1日に挙行され、72回生89名が卒業証書を手に入れます。それに先立ち、2月28日には同窓会長をはじめ本部役員や顧問、支部長が出席し、同窓会入会式が行われ、新入会員を迎えます。

令和元年度の卒業生は、男子39名、女子50名の合計89名です。あやめが丘で育った若者たちが、それぞれの目標に向かって大きく羽ばたきます。温かく迎えてください。

同窓会入会式は、例年、新入会員と同窓会役員が出席して行っていました。平成27年度より、全生徒が参加して行うようになりました。1・2年生にも入会式を見てもらい、新入会員とともに母校を思い、同窓会に関心を寄せてもらうことを期待します。新しいステージに立つ新入会員89名に温かいご声援とご助力をお願いします。



口加高校の現況 (令和元年度)			
	男	女	計
1年生	39	67	106
2年生	32	37	69
3年生	39	50	89
計	110	154	264

口加高校同窓会会員 (令和元年度)	
女子手芸学校	599
実科高等女学校	1,336
高等女学校	310
高等女学校中等部	80
(女学校計)	2,325
口加高校 普通科	13,642
家政科	2,412
商業科	1,388
(計)	17,442
定時制 各分校 (計)	1,339
(口加高校計)	18,781
合計	21,106

### 第72回卒業生代表幹事



3年2組 渡部 恵さん (南串山町)

私は口加高校で充実した高校生活を送ることができてとても良かったと思っています。この3年間で、先生方や大切な仲間に出会い、かけがえない思い出になりました。先生方には、学習面や生活面、進路実現に向けて生徒一人一人に熱心に指導していただきました。

また、部活動では陸上部に所属し、キャプテンを務めさせていただきました。顧問の先生、コーチ、先輩方からたくさんのお話を学び、心身共に成長することができました。部活動で学んだことはこれからの人生に役立つと思います。また、一緒に頑張ってきた部員には数多くの場面で助けて、本当に感謝しています。

これから私たちはそれぞれの夢に向かって精いっぱい頑張っていきます。第72回生代表幹事として、伝統ある口加高校のさらなる発展に少しでも力になれるように、役割を果たしていきたいと思いをします。



3年2組 植松 花凜さん (口之津町)

わたしは口加高校で充実した高校生活を送ることができて、とても良かったと思っています。この3年間は数々の困難もありましたが、先生方や友人、家族のおかげで乗り越えることができました。

進路実現のために朝早くから夜遅くまで親身になってご指導してください。私は夢のスタートラインに立つことができました。これから先生に何が起るかはわかりませんが、「お前たちならできる」と力強く背中を押してください。この口加高校で学んだことをしっかり活かしていきたいと思いをします。

歴史と伝統のある口加高校で学んだことを誇りに、卒業後もそれぞれの夢の実現に向けて頑張っていきます。第72回卒業生代表幹事として母校のさらなる発展に貢献できるように邁進して、しっかり役割を果たしたいと思いをします。



### 関東口加会

会長 平野康博  
(昭和43年卒業)

### 『旅立つ君たちへ』

ご卒業おめでとうございます。3年間の高校生活を終え、それぞれが新しい道、新しい出会いに向けて歩き出されることを心より嬉しく思います。

会社には資産があり、見える資産(預貯金、不動産、業績など)と見えない資産(信頼、安心、組織風土など)があります。が、同じように個人にも見える資産と見えない資産があります。見える資産は、成績、貯金、学歴などですが、見えない資産は、信用、誠実さ、やさしさ、思いやり、夢などがあります。もちろん目に見えない資産は生活に必要ですが、20代はとくに、見えない資産づくりに注力したいですね。見える資産を優先すると他人と比較してしまい自分らしさを見失ってしまいがちです。それより見えない資産を優先し自分らしい人生のストーリーを描いて欲しいものです。

話は変わりますが、私は週に数回は母校のHPを覗くようにしています。HPのアクセス数から計算すると、1日当たり130名と

なり、公表していないので順位はわかりませんが、1日平均130のアクセスは長崎県では1位、全国でもベスト3に入っているでしょう。ということは口加高校に興味のある受験生が沢山いることの証明であり、その結果、2019年7月に公表された中学生を対象とした口加高校受験希望者数15名に表れています。狩野校長の言葉に、口加高校を「島原半島の最南端にある最先端の学校」したい。Challenge to Change。(自分を変えるために挑む)とありますが、いつも感動する気持ちで読ませていただいています。ますますHPを見るのが楽しみになってきました。

### 祝 口加高校同窓会 2020 東京オリンピック記念総会のご案内

新元号の令和となり2020年は東京オリンピックも開催されることから、2020年の総会を記念総会とし、関東口加会と中部口加会の共催(関西口加会協賛)により熱海温泉で開催することになりました。新時代の幕開けとし、56年ぶりの東京オリンピックを祝福し、口加高校の更なる飛躍を祈念しながら、熱海温泉で盛り上がりたいたいと考えています。詳細な案内状は後日郵送いたしますので、万象お繰り合わせの上ご出席賜りますようお願い申し上げます。

- ◇開催日:令和2年10月25日(日)18時~20時30分(1泊2日)
- ◇場所:熱海温泉 金城館(本館)[http://www.itoenhotel.com/atami\\_kinjokan/](http://www.itoenhotel.com/atami_kinjokan/)  
〒413-0022 静岡県熱海市昭和町10-33 電話0557-81-6261
- ◇問合せ:平野康博 メール:ya-hirano@docomo.ne.jp 携帯090-3231-7465

### 中部口加会

事務局長 陣野保友  
(昭和45年卒業)

令和初の卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。又各地区同窓会においては、平成卒の皆様がこれからの同窓会の主要メンバーになりますので令和卒の後輩の為、同窓会の今後の隆盛宜しくお願いします。

さて中部口加会設立20年の節目の年で2年おきの総会も今年が10回目になり、関東口加会の平野会長よりお誘いいただき合同の記念総会を熱海のホテルにて10月に開催、宿泊対応の記念総会です、多くの参加で盛大な総会になると思います、関東口加会の皆さんには、以前の葉・ホームページ写真で参加の確認ができた関東の先輩・同期・後輩と約50年ぶりに会えると思



ますが、お互いにすぐわかるかどうか?個人的には楽しみです。中部口加会では2年毎の総会以外に毎年新年会も実施し、他に年1回は懇親会を有志にて実施、年代を超えてアットホームな懇親会を心掛けております、今回の写真は昨年の名古屋城本丸御殿の見学後の新年会時のものです、事務局としては昭和後半と平成卒は移動の多い年代です、不明の状況になり易くなります、その為に中部地区在住の同窓生へ案内できていないと危惧しております、情報・お問い合わせは事務局陣野へ連絡お願い致します。

### 関西口加会

会長 畑田豪八郎  
(昭和44年卒業)

3年生の皆さん卒業おめでとうございます。いよいよ進学或いは就職で社会へ飛び立ちますね。この3年間やりきった人、もうちよつとだった人、無念に暮れている人、皆さんそれぞれの思いがあるかと思ひます。いづれにしてもとにかく前へです。挫折することもあると思ひます。それでも前へです。私は今年古稀70歳。90歳まで活動するとして20年あります。皆さんは70年以上あります。やりきった人は引き続き、もうちよつとの人、無念な人、まだまだこれから十分に時間があります。一日一日一年一年を大切に前へ進んで下さい。皆さんの頑張り楽しみ



▲令和2年1月12日 関西口加会(京都県人会の新年会)

にしております。関西口加会とは昨年も大阪・京都・神戸長崎県人会と連携し楽しく活動を続けています。今年正月の京都県人会の新年会では、今年10位だった全国女子駅伝監督・選手の皆さんと楽しく交流しました。写真は1区で17年ぶり新記録の廣中選手を囲み京都・神戸の会長副会長とのショットです。関西口加会同窓会は昨年も大いに懇談頂きました。今年は7月5日(日)十二時より、例年と同じ大阪城を仰ぎ見る馬場町の「KKRホテル大阪」にて開催致します。まだ一度も出席されたいことがない方はもとより、同窓会は卒業したという方、一休みの方、次頁の住所・アドレス・電話へご連絡下さい。ご案内お送り致します。ご都合宜しければご出席お待ちしております。



▲令和元年 口加博多会 (2019年10月12日)

### 口加博多会

会長 荒木省三  
(昭和42年卒業)

口加博多会は例年通り10月第2土曜日に、いつもの場所、林田本部会長・大野副会長・狩野校長・綾部市長代理・福田関東口加会副会長・畑田関西口加会会長において頂き開催しました。今回はゲストに魅惑のハイトーンボイスの比嘉いつき君(10歳)を迎え、すばらしい歌声を聴き、心にしみる雰囲気につつまれました。その中のオリジナル曲「あなたに会いたい」の歌

《住所》〒630-0222  
奈良県生駒市壱分町  
1463番地25  
《携帯》090-5705-16307  
《アドレス》ghatada@nifty.com

### 口加長崎会

会長 平 敏孝  
(昭和46年卒業)

口加博多会も何かのきっかけで、盛り上がるよう幹事一同頑張ります。

口加の新卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。令和という新しい最初の卒業生として、新たなステップを踏み出される皆さんに心からお祝いをお願いします。

さて私たち「口加長崎会」には長崎市や西彼地区に住む卒業生が毎年秋に集まり、母校ゆかりの



りの人によるミニ講演と懇親会を設けながら交流しております。

令和元年度も狩野校長先生、林田本部同窓会長はじめ40名の方に参加いただき開催されました。当会恒例イベントのミニ講演では就任2年目の狩野校長先生にお願いして、教職の道を選ばれるに至る出会いや巡り合わせ、口加高校に赴任されての思い、また、最近話題になっている教育改革へのご意見など、貴重で印象深いお話を伺うことができました。これまでも歴代の校長先生のお話をこのミニ講演で伺い感じることが、どなたも口加高校を愛し、その運営に真摯に取り組まれていらつしやることです。

30分余りの講演時間あとの懇親会では昭和30年卒業から平成24年卒業までの60年にわたる各世代の参加者が賑やかに語りあい楽しいひと時を過ごすことが

### 諫早口加会

事務局長 中島 ふさ  
(昭和40年卒業)

できました。様々な仕事や経歴をもつ幅広い年齢層の人たちが出会い、親しく交流できるのは口加高校同窓会ならではのことに改めて思います。どうぞ卒業される皆さんのなかで、長崎近辺にお住まいの予定の方の参加を歓迎します。ご連絡をお待ちしております。

「いつのことだか思い出してごらん。あんなこと、こんなことあったでしょう!」この時期、よく耳にするフレーズですが、今春、口加高校をご卒業の皆さん、誠におめでとうございます。伝統ある口加高校で学んだ3年間はいかがでしたか?この時代は青春そのもの、いつまでたっても級友や恩師、受験、クラブのこと等蘇ってきます。これからは、誇りを胸に、夢の実現に向けて努力され、各地の同窓会にも参加して先輩の方々と交友を深めていただきたいと思います。

諫早口加会は、令和元年12月7日(土)ホテルフラッグス諫早で開催しました。同窓会本部から林田新一会長、大野豊・宮崎大岡副会長、中島浩介顧問をはじめ学校から狩野博臣校長先生、釘島正智教頭先生、黒田晃子同窓会事務局長、そして他支部から会長様や会員様、当会員等合計51名のご出席を得て大変和や

かに楽しく開催しました。母校90周年(平成4年)の年に結成して早くも28年。会長は、平成29年から3代目志賀正幸会長(S61年卒)に替わり若返りしました。当日は、生徒減少の中で福祉科新設、グローバルコースの躍進など母校の現況や課題、口加グッズの紹介をうけました。懇親会では、オカリナ演奏のありとビンゴゲームで有志持ち寄り上がり、校歌斉唱で次の再会を誓いました。同窓生の皆さん、諫早に転居や就職される方はぜひ「諫早口加会」に登録して下さい。皆様のご参加をお待ちしています。



▶令和元年12月7日(土) 於・HOTEL FLAGS



令和元年度 長崎県高等学校総合体育大会結果

Table of sports results for the 2019 Kagoshima Prefecture High School Sports Meeting. Categories include陸上競技 (陸上競技《男子》, 陸上競技《女子》), バレーボール, バスケットボール, 卓球, ソフトボール, ソフトテニス, サッカー.

令和元年度 長崎県高校新人大大会等結果

Table of results for the 2019 Kagoshima Prefecture High School Freshman and Newcomer Championships. Categories include陸上競技, バレーボール, バスケットボール, 卓球, ソフトボール, ソフトテニス, サッカー.

平成30年度卒業生 進路状況 (平成31年3月 卒業生 普通科77名)

Table showing career paths of graduates. Columns include school type (国立大学, 公立大学, 私立大学, 短期大学) and destination (医療系専門学校, その他専修・各種学校, 公務員就職, 一般就職・自営).

主な合格校

List of universities and schools accepted by graduates, including 長崎大3, 熊本大4, 九州工業大1, 山口大1, 高知大1, 宮崎大1, etc.

放送部 NHK杯全国高校放送コンテスト長崎大会

2年1組 森塚はな (県大会出場)

放送部 九州高校放送コンテスト長崎大会

2年1組 森塚はな 【決勝進出】

吹奏楽部 長崎県吹奏楽コンクール

銅賞

吹奏楽部 第8回JBA長崎ソロコンテスト

1年4組 宮田彩加 【銀賞】

令和元年度長崎県高等学校国際教育研究協議会 高校生英語弁論大会

グローバルコース 2年3組 氏原由博 【優秀賞】 (九州大会出場)

第28回 長崎県高等学校英語スピーチコンテスト

グローバルコース 2年3組 照平麗月 (出場)

第66回「国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール中央大会」

グローバルコース 2年3組 栗田悠衣 【文部科学大臣賞】 (ニューヨーク派遣)

第21回 福祉教育フェスティバル2019「高校生福祉大賞コンテスト」

福祉科 1年 【優秀賞】

第7回 長崎県高校生介護技術コンテスト

福祉科 1年4組 【奨励賞】 多良和美・藤下琴音・池田亜依花

令和元年度「税に関する高校生の作文」

1年3組 綾部浩哉 …… 【島原税務弘報協議会会長賞】

1年3組 立花理沙 …… 【長崎県租税教育推進協議会代表幹事賞】

1年4組 吉田ひなた …… 【島原税務署長賞】

第14回 高校生のキャリア短歌・キャリア生活文

1年4組 吉田ひなた …… キャリア生活文【佳作】

第101回 全国高等学校野球選手権長崎県大会

1回戦 口加 6 - 3 北松西

2回戦 口加 1 - 14 長崎商業 (6回コールド)

NHK杯長崎県高等学校野球大会

2回戦 口加 13 - 1 諫早商業・島原翔南

3回戦 口加 2 - 9 創成館



# 創立百十八年目、 口加高校はますます元気です！



校長 長野 博 臣  
校 長 狩 野 博 臣

## ◆「仰げば尊し青春の回忆」

令和2年春。あやめが丘から89名の若人たちが飛び立っています。時に人生に迷い、恋に悩み、胸の内で暴れる竜を抑えきれないほどの若さとの格闘だったろうと思います。2月28日、林田新一同窓会長様をはじめ、役員各位のご臨席を賜り、同窓会入会式が執り行われました。これから全国各地に飛び立つ後輩たちをよろしくお願い申し上げます。

## ◆令和元年度 卒業生の主な進路先

多くの卒業生が実家を離れ、新天地での生活を始めます。以下、今春卒業する生徒たちの主な新しい居住地です。なお、国立大学等の発表前です。人数は概数です。  
○島原半島内(6名) ○長崎市(13名) ○佐世保市(5名) ○諫早市(1名) ○佐賀県(3名) ○熊本県(2名) ○福岡県(17

名) ○鹿児島県(1名) ○関西圏(2名) ○中・四国(3名) ○関東圏(1名)

## ◆令和元年度の 口加高校の現況報告

(1) 生徒数 (令和2年1月現在) 全校生徒265名。(定員は各学年120名)。内訳は、1年生116名、2年生70名、3年生89名

全校生徒は昨年度比で25人の増加。今年度の本校の総定員に對する生徒充足率は74%です。  
(2) 全国レベルでの生徒たちの活躍  
① インターハイ出場  
陸上競技部3年生の森北詩音さん(加津佐中卒)が女子800Mで、また中村純さん(西有家中卒)が女子砲丸投げで、8月に沖縄県で開催された「2019感動は無敵大 南部九州総体」に出場しました。森北さんは1年次から県高校総体では負け知らずの3連覇を達成しました。

② 「国際理解・協力のための高校生主張」で文部科学大臣賞受賞  
※別添①をご覧ください。

グロークルコース2年、栗田悠衣さんが10月に行われた中央大会で文部科学大臣賞を受賞しました。全国から235点の応募があり、地方大会で選抜され

た25人が中央大会に進出しました。「海洋プラスチックごみ問題をなくすために、私たちが国連とできること」をテーマに日本語で6分間のスピーチを行いました。副賞として今年3月ニューヨークにある国連視察を行いました。

(3) 福祉科の設置  
平成31年4月、県内公立高校初となる福祉科(定員26名)が設置されました。国家資格である介護福祉士の受験資格を得ることができ、第1期生として、17名が入学しました。

① 福祉科の開科式典を開催  
※別添②をご覧ください。

5月、文部科学省の視学官や日本介護福祉士会の会長をはじめ約400人が出席され、福祉科の開科をお祝いとともに、1期生17人を激励していただきました。式典では中島みゆきさんの「糸」を全校生徒で合唱し、福祉科17名は歌詞を手話で表現しました。

② 長崎県介護技術コンテストで奨励賞  
7月、県内高校で福祉を学んでいる生徒が2人1組になり介護技術を競い合う介護技術コンテストに出場しました。他校は2、3年生ばかりの中、1年生で臨んだ初の大会で見事な成績を収めました。他校の先生から、初出場でも1年生であれだけできるとは「口加恐るべし」と言われました。

(4) グロークルコースの生徒たちの取組

① 外務省主催「日中植林・植樹国際連帯事業」  
※別添③をご覧ください。

9月、中国の蘇州、西安両市の高校生が本校を訪問し、日中友好の証に榎の木を植樹しました。その後、本校グロークルコースの生徒たちと一緒に英語の授業を受けたり、日本文化(浴衣の着付けや紙相撲、アニメなど)の紹介などをして交流を深めました。

② 観光ツアーを企画  
※別添④をご覧ください。

10月、グロークルコースの生徒9名が企画した地域の魅力を体験する1泊2日のツアーが南島原市で開催されました。南島原ひまわり観光協会や地域住民の皆様のご支援を得て、諫早市になる長崎ウエスレヤン大学の学生がモニターとして参加しました。

◆ 同窓会・PTAからの  
本校への支援

① 「口加塾」の開催  
4回目となる今年度は、(有)和泉屋代表取締役社長の井上確様(昭和42年卒)に「挑戦する力 変化する力」と題してご講演を賜りました。これまでのご経歴や現在のお仕事について、また、たくさん失敗もしてきたが前向きに挑戦してきたことなど後輩たちへの熱いエールをいただきました。

② 「カフェ」オープン  
本校OBであり、南有馬町で

大嶋ストアを経営されている大嶋博宣様に従来の購買部をリニューアルしていただきカフェをオープンしました。その名も「CoCo Cafe」。コーヒーやキャンディなども無料で提供いただいています。生徒たちがお昼をとったりなど、ホッと一息つける空間になっています。

③ オリジナル応援グッズの作成  
※別添⑤をご覧ください。

PTAの皆様方に、本校のスクールカラーであるオレンジを基調としたポロシャツ、タオル、トートバッグ、ランチバッグを作成していただき、収益金を生徒たちの教育活動に充てさせていただきます。ご購入いただければ幸いです。ご購入いただければ幸いです。

◆ 「口加で咲くか!  
令和から始まる口加  
New Generation!!」

これは、全職員で考えた令和元年度のキャッチフレーズです。生徒には本校で目標を持って努力を重ね、他人との比較ではなく自分自身の花を咲かせて欲しいという思いを表現しました。「桜は桜、梅は梅」という教育方針です。令和の訪れとともに口加新時代の到来です！

◆ 新制服(女子)の導入  
防犯と防寒の観点から、女子のストラップスを導入します。  
※別添⑥をご覧ください。

◆ 新制服(女子)の導入

防犯と防寒の観点から、女子のストラップスを導入します。

※別添⑥をご覧ください。

別添②

口加高福祉科の誕生祝い

県南地区の福祉・介護現場を支える人材育成を目指す、南島原市口之津町の県立口加高福祉科が、2月6日に今年春、県内公立高で初めて誕生した福祉科の記念式典が17日、同校であった。

1期生17人が手話交え合唱



全校生徒や教職員に加え、文部科学省や県市教育関係者ら計400人が1期生17人を激励した。狩野校長が「少子高齢化が進む中、福祉・介護分野は近い将来、社会インフラとなる。地域に貢献できる人材を輩出したい」と、式辞を述べた。高田彩加さん(16)が「1期生として道を切り開いていく責任の重さを感じ、仲間と共に専門的な学びを深め、奉仕の心を磨きたい」とあいさつ。生徒、教職員が一人の出会いを大切にとの思いを込め、シンガー・ソングライター、中島みゆきさんの「空」を手話を交え合唱した。同科は看護師1人を含む専門教員3人を配置。国家資格「介護福祉士」の受験に必要な計53単位を3年間で履修。特別養護老人ホームなどで実習もする。(西隆志)

別添①

県立口加高2年生。出場者は都会の子ばかりで引け目を感じたが、身近な問題をアピールできた。と目を輝かせる。

田中悠衣さん



プラごみなくしたい

「あの人の人」  
すために、私たちが国連とできること。レジ袋は有料か否か。オーストラリア留学で得た経験と実父が営むすし店の対応

を比較検討しながら課題や解決策を練り上げた。スピーチでは「海の生物がプラスチックごみを誤飲して死んでいる。勇気を持ってレジ袋を断り、美しい海を守る」などと訴えた。

副賞として来年3月、ニューヨークの国連本部を視察する。「米国のプラスチックごみの問題なども調べたい」と意欲。南島原市口之津町に家族3人暮らし。17歳。(西隆志)

別添③

「日中友好の懸け橋に」  
中国の高校生、口加高で植樹



外務省の「日中植林・植樹国際連携事業」の一環として、中国の蘇州、西安両市の高校生が6日、南島原市口之津町の県立口加高(狩野博臣校長、267人)を訪れ、日中友好の証に樹の木を植樹した。同事業は中国の青少年を招き、植樹や環境活動などを通して日中両国の友好促進を目的としており、来校したのは、蘇州工業園区第二高級中学と西安交通大学蘇州付属中学の高校生28人。日中の高校生たちが、スコップで丁寧に土をかぶせていった。口加高が、ローカルコースの2年生52人は、浴衣の着付けを教えた。日中紙相撲で遊んだりして日本文化を紹介したり。口加高1年の豊島愛祐さん(16)は「植樹問題など日中関係悪化のニュースで見聞きするが、高校生レベルではそんな緊張感はない。植樹が両国の友好の懸け橋になれば」と話した。(西隆志)

別添④

口加高生が企画観光ツアー

地元の魅力伝えたい



南島原市口之津町の県立口加高狩野博臣校長、267人が企画した地域の魅力を体験する1泊2日のツアーが市内で開催された。観光活性化が狙いで、南島の潜在キリントン関連遺産(有馬町)や、早崎半島の住民の支援を得て実現した。同校グローバルコースの1、2年生9人が学習の一環として企画。モニターと口加高狩野博臣校長、267人が企画した地域の魅力を体験する1泊2日のツアーが市内で開催された。観光活性化が狙いで、南島の潜在キリントン関連遺産(有馬町)や、早崎半島の住民の支援を得て実現した。同校グローバルコースの1、2年生9人が学習の一環として企画。モニターと

タブレット端末で原城跡の歴史を説明する口加高の生徒ら

別添⑥

口加高校女子制服(令和2年度より)  
「パンツスタイル」登場!



最終日の13日は、モニターの学生を交えた会議を開いた。モニターからは「民泊体験や地域の人と交流を巡り、人の優しさを感じた」という利点のほか、「自然を生かした旅行企画を初めての人や外国人にも分かりやすい案内マップが必要」などの意見も出た。リリーターで2年生の氏原由博さん(17)は「予定通り事が進まず、時間配分も難しかった。今回のツアー企画を通して感じたことや改善点を踏まえ、今後の観光研究に生かしていく。(西隆志)



「夏服のパンツスタイル」

「冬服のパンツスタイル」

別添⑤

本年度の県立口加高PTA会長。一昨年11月、口加高グッズをPTAが企画制作した。「研修旅行などで生徒の負担を軽減したい」という親切心から。収益金額を同校に寄付する。

林幸繁さん



グッズ製作 収益金寄付

「あの人の人」  
年夏から話を進め、内容や価格を詰めてきた。長女と長男の小中学校時代、PTA活動にほぼ携わらなかったという

が、長女が同校に入学した2014年度から副会長を4年務めた。「周囲の推薦もあり、そろそろ自分も貢献し、罪滅ぼしせんば」と引き受けた。22年度は同校創立20周年の節目を迎える。「私たちの代団結を盛り上げるのを引き継ぎ、今後の保護者たちも学校の発展を支えていってほしい」と願う。JA島原雲仙勤務で口之津町に暮らし59歳。

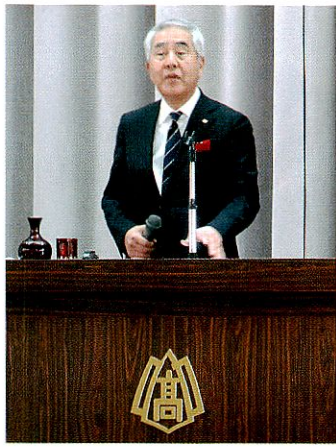
# 口加塾

## 人生の達人セミナー感想文

### 「挑戦する力 変化する力」

3年文Ⅱコース 木下 莉子

今日の講演会を聞いて「物事を前向きに考えること」「目標は高く持つこと」「可能性はたくさんある」ということを学ぶことができました。井上さんの昔から今までの話を聞き、井上さんがいろいろなことにチャレンジし、前向きに物事を考えている姿はとてすごいと思いました。改めて、時代の変化に合わせて私たち自身も変わっていくといけないことも学べました。あと少しで高校生活もおわります。私たちはこれから先、いろいろな壁にぶつかることと思います。でも、今日の話を聞いて井上さんのように何事も前向きに考えながら自分の夢に向かってがんばろうと思いました。失敗もたくさんすると思いますが、自分の財産と考えて、どんどん大人へと成長していきたいと思いました。



(有)和泉屋 代表取締役 井上 確 氏

平成31年度 口加高校同窓会総会 会計	【収入】	前年度繰越金	30,222円
		会費収入	306,000円
		合計	336,222円
	【支出】	総会懇親会諸経費	333,770円
			0円
		合計	333,770円
	【差引残額】		2,452円

平成31年度「あやめが丘」発行協力金 会計 (令和元年5月31日時点)	【収入】	郵便局入金件数 (567件)	2,016,650円
		広告宣伝協賛件数 (38件)	350,000円
		繰越金	301,185円
		合計	2,667,835円
	【支出】	あやめが丘作成費	284,000円
		送付用印刷費(封筒・振込用紙印刷等)	537,516円
		発送郵便費	948,430円
		送金手数料	69,064円
		名簿管理費	54,000円
		事務費	1,892円
	同窓会一般会計へ繰出	200,000円	
	合計	2,094,902円	
【差引残額】	次年度発行準備金へ	572,933円	

### 事務局だより

#### ☆住所等の変更

昨年第52号の発行では、13,218部を発送し、200通が所在不明で返送されました。今回は所在不明以外の13,018部を送付することとなりました。今後も確実にお届けするために、住所変更等がありましたら事務局までお知らせください。また、所在不明の方については調査・確認を進めてまいります。卒業生の方に届かなかつたなどの情報がありましたら、これも事務局までお知らせください。なお、連絡の際には、卒業年・旧姓(変わった場合)もお知らせください。

#### ☆証明書等の請求

卒業証明書・成績証明書・調査書などの各種証明書が必要な場合には、次の要領で口加高校事務局へ請求してください。

- 一、証明書の種類・必要部数・本人の氏名・卒業年度を正確に伝えてください。
- 二、手数料(一通につき400円)円を添えて申し込んでください。郵送を希望する場合には、切手を貼った返信用封筒を添えてください。



## 令和2年度 口加高校同窓会総会のご案内

<p>《第1部：第5回 口加塾》</p> <p>【日時】 令和2年11月13日(金) 午後1時15分～</p> <p>【場所】 口加高校体育館</p> <p>【講師】 平野康博氏(昭和43年卒、南串山町出身、東京都在住)</p>	<p>《第2部：同窓会総会及び懇親会》</p> <p>【日時】 令和2年11月13日(金) 午後5時</p> <p>【場所】 しらはまビーチホテル(口之津町)</p>
--	---

**同窓会事務局**

校長	狩野 博臣
教頭	釘島 正智
事務長	中村 啓一
事務局長	黒田 晃子 (S63年卒)
会計	永吉 照美 (S53年卒)
庶務	松山 辰徳 (H14年卒)
庶務	志方美千代 (S54年卒)

〒859-2502 南島原市口之津町甲3272番地  
TEL 0957-86-2180 FAX 0597-86-2307  
E-mail: kouka-h@news.ed.jp

**本部役員 (平成30年～31年)**

会長	田野 浩一 (口之津 S42年卒)
副会長	豊太 (口之津 S48年卒)
副会長	浩平 (南有馬 S50年卒)
副会長	順一郎 (加津佐 S61年卒)
副会長	純一郎 (口之津 S43年卒)
副会長	章生 (加津佐 S49年卒)
副会長	晴彦 (加津佐 S34年卒)
副会長	安彦 (加津佐 S25年卒)
副会長	壽彦 (南有馬 S29年卒)
副会長	英治 (加津佐 S33年卒)
副会長	政博 (口之津 S37年卒)
副会長	浩介 (加津佐 S42年卒)
副会長	浩介 (加津佐 S60年卒)

**編集後記**

全国の同窓会員の皆さんへ我が伝わればと願いを込めて、第53号「あやめが丘」が完成しました。本号は同窓会の活動や母校の状況、後輩たちの活躍や掲載して編集しました。情報収集の足りない部分もありますが、次回に向け努力してまいります。執筆、編集にご協力いただき、ありがとうございました。ご多忙な中に、執筆、編集にご協力いただき、ありがとうございました。ご多忙な中に、執筆、編集にご協力いただき、ありがとうございました。